

神奈川山梨教会連合会だより

かりん

川込トミエ先生は大正14年7月16日、愛媛県西予市にて8人兄妹の末子としてお生まれになりました。当時ご家族は信心をされていませんでしたが、昭和17年に愛媛県双岩教会にご縁を頂かれ、家族で入信されます。学校卒業後は郵便局で約5年間働かれました。☆信奉者から金光教の教師になったきっかけは？。

トミエ師(以下トミエ) それまでは元気に仕事をさせて頂いていましたが、23才で肺結核にかかってしまい、それから約5年間入院しました。病状は良くなり、とうとう医者には「命の保証はない」と言われました。

☆昔は結核で沢山の方が亡くなられたそうですし、そう言われると怖いですね。
トミエ その頃、検査で私は菌を撒かないタイプだと診断されました。病棟も一般病棟でしたし、外出も出来ましたので、教会にもお参りさせて頂いていました。その際、不思議なことに、家から病院に行く時は、顔が真っ青になって体が本当に辛くなるのですが、教会に参拝させて頂く時は元気になるのです。当時教会までは、駅を降りてから山道を30分も登るのに、です。ま

た、御本部にお参りさせて頂き、三代様にお取次して頂いた時には「教会に入って修行されたら良い」とのお言葉を頂きました。☆5年間寝たきりで、ご修行するような状態ではなかったのではないですか。

トミエ 私の病気のことで母には親不幸をしている、と思っていました。

「あの子は教会でもダメだったから」と諦めが付



川でスベって山でコロんで……とってきました

Interview

第19回 川込トミエ先生(大明教会)

くだらう、と思ひ、最後の親孝行のつもりで28才の時に教会修行に入らせて頂きました。

☆思い切られましたね。

トミエ 親先生から「私の言う通りにして死んだら、命はもどしてやる」とお言葉を頂いた事も、大きかったです。

当時は、結核患者に対する差別は世間ではかなりあったのですが、教会の親先生や修行生の方々は、全く差別されないので。

寝食を共にして仲良くして下さり、涙が出るほど嬉しかったです。

親先生からは「あんたの体は天地の神様が作って下さったのだから、自分が悪くした所はお詫び申して体のお作りかえ頂き、神様の御用に立たせて頂きなさい」とお話しさり、また「あんたは5年間、寝たのだから、これからは人より5分でも早く起きて、命を向こうへ延ばせて頂きなさい」とお話し頂きました。不思議なことに、修行に入っただ日から具合が悪くなることなく、どんな体が元気になっていきました。毎日が有り難く、楽しく修行をさせて頂きました。5年程経った頃、親先生から「これであんたの肺病は根切れたよ」と言われました。それ以来、今まで再発することもなく、兄妹でも一番長生きのおかげを頂いています。

☆これからの目標を教えてください。

トミエ 今まで自分は、本当におかげを頂いて来ました。これからはより一層、双岩教会の教え・三つの心行(人を責めない、恩がけない、言い訳しない) 四つの表行(食物のお礼、お水のお礼、夜眠られるお礼、トイレのお礼)を基に、人の助かる御用に立たせて頂きたいと願っています。

また、来年は大明教会は80年祭を迎えさせて頂きますので、主人と共に、元気に迎えさせて頂きたいと思っております。有り難うございました。

社会奉仕活動

布教部長 奥 川 美智雄

連合会の布教部の活動として、

- ① ホームページの活用と展開
- ② 集会・講演会への取り組み
- ③ 災害救援活動への対応
- ④ 各種収集活動の実践

を今年度の事業計画として進めておりますが、①につきましては、現在管理人さんを集集させて頂いており、専任者がおらず皆様には、ご迷惑とご心配を頂いておりますが、なるべく早くHPが起動出来るように頑張っております。②につきましては、二年後の教団独立百年に、開催を目指して取り組んで参ります。③につきましては、災害が発生した時には、速やかに各教会への協力を呼び掛けて参りたいと思っております。④につきましては、今年度より収集活動の実践に取り組んで参りますので、各教会のご理解とご協力をお願いします。

七月は、本教の社会奉仕月間です。各教会におかれましては、それぞれ収集活動を実施されておられると思いますが、まだ実施されていない教会へ活動を実施して頂きたいと思っております。

教祖生神金光大神様は、「かわいいと思ふ心が神心である」と教えて下さっております。「かわいいそうに、なんとかしてあげ

たい」という心は、私達人間だれしもが備えております。人の苦しみを理解したり、助かってもらいたいという思いが生まれるのも、私達人間が神様から分け御霊(分霊)を頂き、神心を授けられているからなのです。

お道のご縁につながる私達は、この神心を發揮して、「われひと共に助かる」あり方を生活の上に現すことに取り組んでいくことが願われており、その実践として、祈りと行動をもって、社会活動をさせて頂くことが、神様へのお礼になると思い、連合会としても、取り組んで参りますので宜しくお願いいたします。現在、収集活動をされている教会は、引き続き地域への活動をお願いいたします。これから始められる教会の為に、担当教会を決めさせて頂きましたので、担当教会へ収集したものをお届け下さい。手渡しでも、郵送でも結構です。収集した物は、企業が買い取るることによって、車椅子(ブルトップ)やワクチン・薬(ボトルキャップ・切手・カード)となります。それによって多くの人の命が助かります。そのお役の一人にならせて頂きたいと思っております。

- ◎ 切手・カード 担当 横須賀教会
- ◎ ベルマーク 担当 登戸教会
- ◎ ブルトップ 担当 平塚教会
- ◎ ボトルキャップ 担当 鶴見教会

かりんの輪



神様から役

生麦教会 高橋 正一

【入信】 8歳の時に、母親に手を引かれて大分県蒲江教会にお参りしたのが始まりで、昭和28年6月に横浜への転居を機に鶴見教会にご縁を頂き、ポイスカウトを経て信心の道に進みました。

【難儀からの教わり】 それから何事も無く順調に信心の道を歩んでいた昭和46年3月23日に、自宅の火災で2歳8ヶ月の長女を亡くした。その3年後、新車のマイカーが盗難に遭い全損。更にその2年後、帰宅途中にダンブカーに運転席真横から追突され、かすり傷一つ無く九死に一生を得る、その後、こんどは妻がバート先から自転車での帰りに深さ4メートルの乾いた川底へ落ちて、肺が潰れ意識不明になるという命にかかわる大きな事故に遭った。

その時々小生は、めぐり・業の深さを取り除くのに、神様が、どうしても受けてもらわねばならぬ難儀なのだ、我慢して受けてくれ、そうすれば悪いようにはしない、最善の道はキチンと付けておくと言われているのを感じた。

娘を亡くした火災の時も、一円のお金も無駄にせず再建できた。そして、小生の信心は大きく変わっていった。それは、娘を亡くすという大きな犠牲で得たおかげや、妻の災難からの教えを受け、もう何も怖いものは無い。どんなことでも素直に受け、何を教えてくださっておるのか、それを追求していくことである。何故なら、神様は必ず悪いようにはなさらない、最善の道をつけてくださるのだから。

関東教区信徒会 一泊研修会 報告



今年の連合会一泊研修会は、関東教区信徒会の研修会に併せる形で行いました。信徒部では昨年末から準備に入り、6月28・29日、大船駅近くのホテルコーヨーを会場に、講師は京都市中立売(なかだちうり)教会の今岡多美江先生をお願いして、当日を迎えました。180名という多数の申込を頂きました。

今岡先生は、42歳で音楽が専門で御本部の大祭時の指揮者として、地元の合唱団の指導者として、教会で子どもたちの音楽教室の指導者としてご活躍中の方。元小学校の音楽教師としての体験、教会家庭夫人と

して、1児の母としての日常の生活の中で、何を土台にして生きていけば良いのか、その大切なところを具体的に語って下さいました。パンチの効いたユーモアたっぷりのお話に、会場は明るい笑いに包まれました。お話、質疑応答のあとは、ミニコンサートです。ご自身が作曲された歌(光り輝く道)の歌唱指導、さらには、ご子息・今岡秀輝(中1)さんのヴァイオリン演奏(メンデルスゾーン作曲・ヴァイオリン協奏曲ホ短調第一楽章)という内容でしたが、心の琴線に触れるような詞とメロディーの歌を、参加者みんなで爽やかに歌い上げました。歌うことで会場にいるすべての方の心が一つになり、まさに「音楽は心を繋ぐ」を実感する研修会になりました。居眠りする人など誰もいない、講題の「元気で生きるために」をそのまま体現したパフォーマンスでした。その後の懇親会もクイズあり、阿波踊りあり、みんなで歌おうコーナーありの楽しいもので、盛り上がりました。

近くのビジネスホテルに一泊し、翌朝は鎌倉を散策して、雨に濡れたあじさいの見事さを堪能し、お昼過ぎにすべての予定を終了しました。

お祈り添えを頂きました、皆様方に厚く御礼申し上げます。(信徒部・大塚 東子)

【自分の思い通りにはならない、神様の力】一方、小生は石油会社の営業マンをしていた。昭和39年のオリンピックの前後は経済成長期で、賄賂・汚職・贈収賄が小生の蔓延していた。それが嫌でタンクローリーの運転手に部署替えをしたが、意に反して事務所に上がるように言われた。そこで終わらず、次に子会社の取締役になれ、そして、常務に、専務に、とうとう社長になるように...と。自分が望まなくても神様に使って頂ける有り難さを感じる。65歳で辞めさせて下さいと願うと、親会社で務めてくれとのこと。今では下請け6社の管理者・乗務員の指導をさせて頂いています。

【お気付き・お試しにより神様からのお役を受ける】

そんな半生を振り返って思うのは、改まりや、ご都合・お練り合わせを頂けるのは、神様からの御思いに沿えるかと言う四六時中のお試しであるということ。そのお試しであるということ。そのお試しをどのように気付き受け止めるかだと思ふ。お試し(テスト)、つまり、気付かない→小さく気付く→無限と、無限に近付いて推し量れるようになることで、神様により近付けるのではないかと、この気付き方で信心の深さが違うのではないかと。そう感じている。

これからも小生は、如何なるお試しでも、神様からお示しくださいましたものと思ひ、素直に受け止め、天地の神の奥の奥を訪ね、教祖様、金光様に近付けるように修行をして参りたく思ひます。今は自分が変わっていくのが解り、日々が楽しく、金光様へのお取次は教会の先生方、小生はこの殺伐とした世の中、世間一般の人達への取次をして行きたく思ひます。

その一つが、出会う人に元氣、明るさ、勇氣をあげることを願っています。知人に会うたびに、高橋さんには元氣を何時も貰う、今日も明るさと元氣を貰いますと言われるのを楽しみに過ごしております。

【お知らせ】

親子のつどい'08

「そうだ、地引網をしよう!!」

地引網、海岸掃除を通して、世代・教会・連合会を超えた交流をしましょう。

日時 9月6日(土) 午前11時開会

(10時30分 受付開始)

会場 三浦海岸

(和風レストラン魚敬前)

参加費 大人 2000円

小人 1000円

(小学生〜高校生 未就学児無料)

締切日 7月25日(金) 教会ごとに、

申込用紙でお願いいたします。

詳しくは、チラシをご覧ください。

申込・問合せは、子安教会 村田光治迄

☎(045)421-1927



女性のつどい

歌を通して、教会を超えた交流をしましょう。

日時 9月4日(木) 13時から

会場 金光教 藤沢教会

藤沢市藤沢1丁目9-8

☎0466-22-0004

交通 東海道線・小田急線「藤沢駅」

北口下車

バス(茅ヶ崎行・用田行・長後行・

善行行)などに乗り「藤沢公民館前」

(本町1丁目)下車 徒歩3分

講師 井上祐子氏(藤沢教会信徒)

参加費 無料

公開講座 こころうセミナー

金光教の歴史を描きながら

自分の立ち位置への感触

日時 9月6日(土) 14時〜16時

会場 金光教センター 3階

東京都文京区本郷2-17-11

☎(03)3818-6321

講師 大林浩治氏

(金光教教学研究部部長)

参加費 300円

〈な・が・れ〉

『自分史のお奨め』

丸子教会 岡 本 寿 夫

私は友人の奨めで自分史の会に入りました。今、改めて読み返しますと、まるで「おかげ話」のようなので驚いています。

関東大震災のとき父母は深川に居て、陸軍の被服廠へ逃げる気でいましたが、ある人の忠告で他へ逃げ、被服廠の死者4万人の仲間にならずに済み、母のお腹に居た私も無事生まれました。これを序文として、次から次へと「運が良かったな」という話は続きます。

私の家は、昭和20年過ぎまで全く不信心でいたのですが、「信心しなくてもおかげはやってある」というのは本当だな、としみじみ思います。自分史を書いていますと、記憶の奥底に沈んでいたことがフッと浮かんで来て、堪らなく懐かしい思いもあり、また反省を促されることもあり、信心を進める上にも有益だと思えます。何よりもまず、非常に楽しいです。

皆様にも、是非、自分史を書くことをお奨めいたします。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田 光一

横浜市神奈川区青木町六一二十五

〒221-0057 金光教神奈川教会内